**御池野鳥の森**

御池野鳥の森は、霧島連山の東部に位置する115ヘクタールの鳥保護区です。この森には多くの留鳥と渡り鳥が生息しており、多くの種にとって重要な繁殖地です。

野鳥に加え、保護区は、シカ、イノシシ、二ホンアナグマ、コテングコウモリをはじめとした哺乳類やその他の野生動物の楽園でもあります。

イチイガシ、カゴノキ、タブノキ、ホオノキなど、森にそびえ立つ木の中には高さ20〜30メートルに達するものもあります。ツバキのような小さな木やカヤのような針葉樹もたくさん生育しています。

下草に豊富に生えている野生のキノコには、通常は発光性なのに、なぜか霧島で成長するときだけ光らないハラタケ科のアミヒカリタケや、鮮やかな黄色の網に包まれているスッポンタケ科のウスキキヌガサタケ、宮崎県以外ではめったに見られない「南の分解者」ハマキタケ、そして、夢幻的なイヌセンボンタケなどがあります。これらのキノコは、品種に応じて6月から11月までの間に森で見つけられます。